

## 論文審査結果の要旨

論文提出者	(氏名) 大多和 昌 人
論文審査委員	主 査 田 中 芳 彦 印
	副 査 阿 南 壽 印
	副 査 岡 部 幸 司 印
論 文 題 目	Intermittent Administration of Parathyroid Hormone Ameliorates Periapical Lesions in Mice
<p>(論文審査結果の要旨)</p> <p>根尖性歯周炎には外科的治療や薬剤治療に抵抗性の難治性根尖性歯周炎がある。本論文は、歯垢由来の細菌感染によって引き起こされる根尖性歯周炎の動物実験モデルを新たに構築し、副甲状腺ホルモン（PTH）の間欠投与が根尖性歯周炎の病態に及ぼす効果について解析したものである。その結果、マウス歯髄に細菌感染させることで、根尖部に炎症細胞の増加ならびに歯槽骨の吸収を認めるようになり、動物実験モデルとして根尖性歯周炎の病態が観察された。PTH を間欠投与することによって、細菌感染による根尖性歯周炎の病変での好中球の浸潤が軽度になり、歯槽骨の吸収が抑えられることを明らかにした。本研究は、細菌感染による根尖性歯周炎の動物実験モデルを構築し、PTH の間欠投与に根尖性歯周炎の病態の進行を抑制する効果があることを明らかにした意義のある知見である。</p> <p>公開予備審査会ならびにその後の追加審査において、論文提出者は研究の背景、目的と実験方法、ならびに得られた結果と考察について、明確に解説し、質疑に対する適切な回答が得られた。本論文に関する十分な背景と知識をもち、研究成果への貢献を有すると評価できた。</p> <p>以上より、本論文を博士（歯学）の学位申請論文として適格で価値のあるものと評価し、予備審査を合格と判定した。</p>	